

山形県における環境教育の実施課題

① 環境科学研究センターを中心とする環境エネルギー学習拠点機能の活用・拡充

(取組状況)

- ・環境教育に関する窓口一本化のため、NPO法人「環境ネットやまがた」が環境科学研究センター環境情報棟に常駐し、様々なニーズに合わせた人材の派遣調整を実施

(課題)

- ・環境科学研究センターの認知度向上のための取組みの強化
- ・周辺環境資産の活用
(どのような機能、教材等があるか、利用する際の経費等)
- ・多様なニーズに応えるため、産業科学館や環境学習支援団体などの他施設や民間団体との連携強化

② 環境教育教材の活用

(取組状況)

- ・環境エネルギー学習教材（読本・DVD）を作成し、全小学校に配布
- ・山形県環境教育指針を改訂するとともに、上記教材を活用した学習プログラムを掲載

(課題)

- ・環境エネルギー学習教材の活用状況の把握と普及
- ・学校教育現場での取組内容やノウハウ等を共有する機会の提供
- ・アドバイザー等の人材や環境学習支援団体・NPOなど環境教育を支援する団体と学校とのマッチング
- ・各部局の事業との連携強化と様々な分野における環境教育機会の提供
- ・学校現場における教職員に対する意識の醸成
- ・学校現場で環境教育を取り入れるにあたってのサポート体制の整備

③ アドバイザー等の派遣

(取組状況)

- ・環境地域づくり担い手セミナーや環境学習支援団体交流会を開催。

(課題)

- ・環境アドバイザー等様々な人材が広く活動するためのフォローアップ
- ・環境教育に携わる様々な分野の人材が交流できる機会の提供と活動を多方面に展開するための工夫

※ 山形県環境科学研究センター「派遣事業」の平成 25 年度実績

